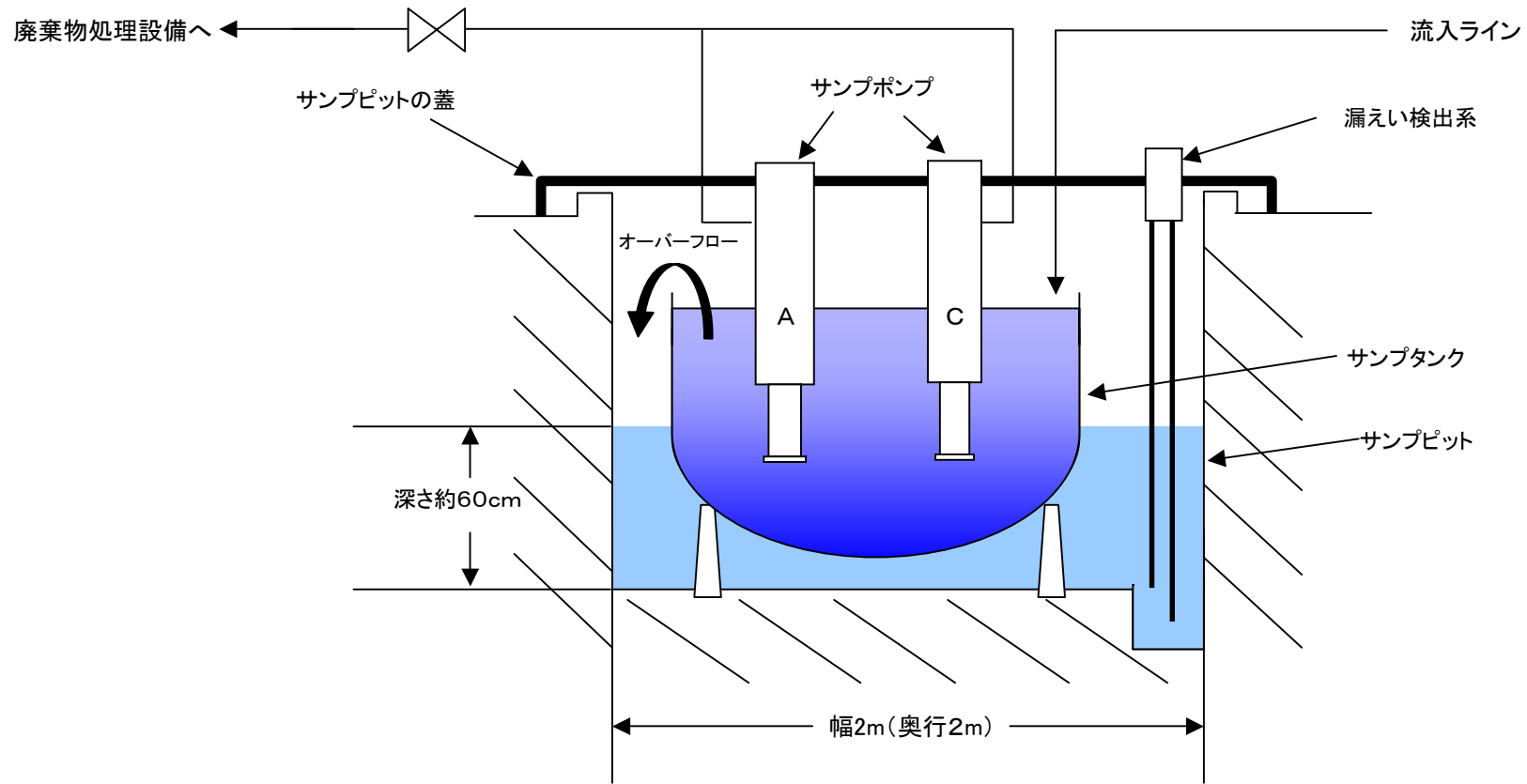


区分：Ⅲ

号機	1号機	
件名	原子炉複合建屋低電導度廃液サンプピットへの水の流入について	
不適合の概要	<p>当所 1 号機では、消火系配管の損傷により原子炉複合建屋地下 5 階に 2,000m³の水が流入（平成 19 年 7 月 19 日、23 日お知らせ済み）し、流入水の回収および建屋内の清掃、機器類の点検・復旧を実施しております。</p> <p>本日（10 月 5 日）、清掃が終了した低電導度廃液*¹サンプの警報装置の電源を復旧させたところ、午後 1 時 40 分、低電導度廃液サンプピット*²（堰）へ水が流入していることを示す警報が発生したため、当直員が現場を確認したところ、当該ピット内に水が溜まっていることを確認しました。</p> <p>溜まった水の量は、約 2.4m³、放射エネルギーは約 4.6×10⁶ベクレルでした。</p> <p>水はサンプピット内にあり、ピットの外には出ていないことを確認し、仮設ポンプを使って本日午後 6 時 15 分に回収済みです。</p> <p>なお、これによる外部への放射能の影響はありませんでした。</p> <p>* 1：低電導度廃液 各建屋内の機器からの排水、試料採取の廃液等。</p> <p>* 2：サンプピット 廃液を受けるタンク周りに設置された漏れた水をためるための堰（せき）。</p>	
安全上の重要度／損傷の程度	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / ○ その他設備</p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要</p> <p><input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
対応状況	<p>今後、原因を調査いたします。</p> <p>本事象は【中越沖地震】に関連する事象ではありません。</p>	



原子炉複合建屋低電導度廃液サンプ 概略図